

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 6 部門第 3 区分

【発行日】平成29年4月27日 (2017.4.27)

【公開番号】特開2015-158889(P2015-158889A)

【公開日】平成27年9月3日 (2015.9.3)

【年通号数】公開・登録公報2015-055

【出願番号】特願2014-62264(P2014-62264)

【国際特許分類】

G 0 6 F 3/0346 (2013.01)

【F I】

G 0 6 F 3/033 4 2 2

【手続補正書】

【提出日】平成29年3月22日 (2017.3.22)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 4

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 4】

上記従来のように、キャリブレーションの実行方法は種々知られているが、各方法には利点と不利な点がある。例えば、オートキャリブレーションはユーザーの負担がないが外光等の影響を受けやすく、高精度化が難しい。また、例えばユーザーに指示操作をさせるキャリブレーションを行う場合、操作が煩雑であるが高精度にキャリブレーションを行うことができる。そして、装置の使用状況等によって好適なキャリブレーションの方法が異なるので、ユーザーの意に沿った方法を実行することは容易ではない。

本発明は、上述した事情に鑑みてなされたものであり、位置検出を行う装置が複数のキャリブレーションを実行する場合に、適切な方法でキャリブレーションを行えるようにすることを目的とする。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 2 9

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 2 9】

画像処理部 4 0 は、制御部 3 0 の制御に従って、画像 I / F 部 1 2 を介して入力される画像データを処理し、光変調装置駆動部 4 6 に画像信号を出力する。画像処理部 4 0 が実行する処理は、3 D (立体) 画像と 2 D (平面) 画像の判別処理、解像度変換処理、フレームレート変換処理、歪み補正処理、デジタルズーム処理、色調補正処理、輝度補正処理等である。画像処理部 4 0 は、制御部 3 0 により指定された処理を実行し、必要に応じて、制御部 3 0 から入力されるパラメータを使用して処理を行う。また、上記のうち複数の処理を組み合わせることも勿論可能である。

画像処理部 4 0 はフレームメモリー 4 4 に接続されている。画像処理部 4 0 は、画像入力 I / F 部 1 2 から入力される画像データをフレームメモリー 4 4 に展開して、展開した画像データに対し上記の各種処理を実行する。画像処理部 4 0 は、処理後の画像データをフレームメモリー 4 4 から読み出して、この画像データに対応する R、G、B の画像信号を生成し、光変調装置駆動部 4 6 に出力する。

光変調装置駆動部 4 6 は、光変調装置 2 2 の液晶パネルに接続される。光変調装置駆動部 4 6 は、画像処理部 4 0 から入力される画像信号に基づいて液晶パネルを駆動し、各液

晶パネルに画像を描画する。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0030

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0030】

操作検出部 17 は、入力デバイスとして機能するリモコン受光部 18 および操作パネル 19 に接続され、リモコン受光部 18 及び操作パネル 19 を介した操作を検出する。

リモコン受光部 18 は、プロジェクター 10 のユーザーが使用するリモコン（図示略）がボタン操作に対応して送信した赤外線信号を受光する。リモコン受光部 18 は、上記リモコンから受光した赤外線信号をデコードして、上記リモコンにおける操作内容を示す操作データを生成し、制御部 30 に出力する。

操作パネル 19 は、プロジェクター 10 の外装筐体に設けられ、各種スイッチおよびインジケータランプを有する。操作検出部 17 は、制御部 30 の制御に従い、プロジェクター 10 の動作状態や設定状態に応じて操作パネル 19 のインジケータランプを適宜点灯及び消灯させる。この操作パネル 19 のスイッチが操作されると、操作されたスイッチに対応する操作データが操作検出部 17 から制御部 30 に出力される。